

第449回鉄鋼流通問題懇談会議事録

日 時 2019年7月29日(月) 14時30分より
場 所 茅場町「鉄鋼会館4階」日本鉄鋼連盟・第1会議室
出 席 者 経済産業省 黒田課長 篠原課長補佐 中村係長 丹係長
橋本会長(JFE スチール)

全国鉄鋼販売業連合会

会長 阪上(清和鋼業)
副会長 齊藤(栄鋼管)
常任理事 早川(太田商事) 井上(明治鋼業) 山岸(東邦シャーリング)
森下(ダイサン) 澁井(澁井鋼材店) 鎌田(東鋼産業)

メーカー 森安・南浦(JFE)

商 社 島津(伊藤忠丸紅鉄鋼) 小田(メタルワン) 笹本(岡谷鋼機) 中山(住友商事グローバル
メタルズ) 廣崎(JFE商事) 間瀬(阪和興業) 南(兼松トレーディング) 町野(日鉄住
金物産) 上之藪(エムエム建材)

事務局 五藤、内海

- 議 題
1. 全鉄連流通動態調査報告
 2. 全鉄連情勢報告、地区別概況報告、阪上会長総括
 3. 意見交換および商社品種別報告、メーカー報告
 4. 経済産業省挨拶
 5. 会長挨拶

- 配 付 資 料
- (1) 全鉄連流通動態調査結果表(2019年6月分)
 - (2) 各地区業況アンケート7月調査結果
 - (3) 品種別報告、メーカー報告
 - (4) 鉄鋼需給推移表(2019年5月確報)
 - (5) 普通鋼鋼材主要品種別生産推移表(2019年5月確報)
 - (6) 全国市中鋼材数量調査(2019年3月)

経 過

1. 流通動態調査報告

事務局より、配付資料に基づき、6月分の全鉄連流通動態調査結果について報告があった。
別紙、流通動態調査結果(2019年6月分)参照。

2. 全鉄連情勢報告

常任理事・理事より各地区の情勢報告、全鉄連事務局よりその他地区情勢報告があり、阪
上会長が総括した。各地区の情勢報告は別添参照。

阪上会長総括

各地区の報告を受け、阪上会長が以下のとおり総括した。

全鉄連で調査している条鋼類中心の統計、全鉄連流通動態調査結果では販売量において前年
比マイナスが続いており、このままでいくとこの先、厳しい状況が待っていると云わざるを得
ない。年初の見立てではファブの山積みの感触は、秋口から年末にかけて、こなしきれないほ
どの仕事が出るとの見立てが多かったが、直近では大手ファブに聞いても秋口以降の仕事の山
はそれほど高くないようだ。製造業関係についても、自動車、電気機械関連などは消費税増税
の駆け込み需要はあるにしろ、直近の生産統計をみると低くはないが、我々特約店、またその

下請企業、ユーザーなどの発注状況を鑑みると需要は落ちている。経済産業省の7～9月需要見通しは、少し甘いのではないかという印象がある。高力ボルトや人手不足の問題によって物件の出件スケジュールがずれこんでいるという実態もあるが、実質的に需要が減っていることは流通関係者の心理に暗い影を落としている。

3. 意見交換

①商社・品種別概況報告

鋼管・伊藤忠丸紅鉄鋼（島津 鋼管部鋼管第二課課長代行）、薄板・岡谷鋼機（笹本 鉄鋼第一部鋼板室プロジェクトリーダー）、厚板・JFE商事（廣崎 東部鉄鋼本部厚板部厚板室）、条鋼・日鉄物産（持木 建材営業第一部形鋼課課長）
資料を参照。

②メーカー報告

高炉（JFEスチール・南浦営業総括室課長）より、最近の景況感などについて報告が行われた。報告内容は別添「メーカー報告」を参照。

4. 経済産業省挨拶（黒田課長）

鉄鋼グローバルフォーラム、3年間の期限で今年が最終年だが延長を検討している。過剰生産能力の削減、歪曲的な政府支援措置の除去について話しあってきたが、特に中国が過剰生産能力を持っている。中国は中国で生産能力削減にこの3年間取り組んできたため、グローバルフォーラムを延長することは意味がないとしている。中国の意見に反し他国ではまだ過剰設備が残っており、しっかり対応していくことが必要であるという双方の意見がある。鉄鋼グローバルフォーラムの延長は決まっていないが取り組みを進展させる方策をもとめる形となっており関係国と調整している。今年の4月、働き方改革法案が大企業を中心に施行されている。それに伴い下請け等の中小企業に支障が及ぶのではないかとされ、下請中小企業振興法に盛り込むよう関係省庁と連携をとっている。産業ごと取引適正化ガイドラインを改定しており「金属」においても行っている。引き続き、行政としてもいろいろな意見を聞きながら、取引の適正化を進めていきたい。昨年の夏以降、高力ボルト不足について全国的にひっ迫しているという話があった。経済産業省、国土交通省が連携をとり、関係業界に需要側の意見を提出している。一部で改善の兆しがあると聞いており、この問題も経済産業省、国土交通省と連携をとり改善していく。国土交通省で2回ほどアンケートしており、3回目のアンケートを実施しとりまとめている。結果がまとまりしだい、報告していく。7月に発表した需要見通しが楽観的ではないかというご指摘を頂いた。認識が甘いという考えもあると思うが7月に発表したものに関しては5月、6月きちんと調査、準備し作成したものなのでご理解いただきたい。

5. 橋本会長挨拶

橋本会長より概略以下のとおり挨拶があった。

3ヶ月前と比較し、状況が変わったと言わざるを得ない。マクロ的な統計を見ても明確に水準が落ちており、先行きの見通しに期待が持たなくなっている。建設や産業機械といった内需だけでなく米中貿易摩擦の影響で輸出企業も弱い。流通ではこの状態がいったいいつまで続くのかという声が大きくなっているように感じる。今まで堅調だったが、変化点にきており、「堅調」という言葉を使うにはきつい情勢となったとみている。

※次回の会合予定

2019年10月23日(水)午後2時30分より茅場町「鉄鋼会館4階・日本鉄鋼連盟第一会議室」

以上